

No. H20重信-2	平成20年度	四国山地砂防事務所	論文種類		
キーワード	掘削面対策 交通事故防止				
論文名	平成20年度 宮の谷堰堤工事における安全対策について	株式会社福田組	現場代理人:武田英昭		

■工事概要

工事名	平成20年度 宮の谷堰堤工事	概要	垂直壁・側壁・水叩・流路工・山留工
工事場所	愛媛県東温市則之内		
工期	平成20年7月11日～平成21年2月27日		

●安全対策の目的・課題

当現場は「安全」を第一に考え現場作業従事者全員の安全意識を高め、無事故・無災害を目標に作業を行っています。

- 国道11号及び隣接農道の交通安全の確保
- 掘削面の崩壊防止
- 土石流及び出水による被災防止
- 現場作業員の安全意識の向上

●安全対策の特徴・着眼点

1. 災害防止協議会の設置
2. 安全教育・安全訓練の実施
3. 交通事故対策
4. 掘削面の落石・崩壊対策
5. 自記雨量計・警報器の設置



写真-1

●取り組み概要

1. 災害防止協議会の設置

現場内での労働災害、交通事故の発生を未然に防止する為、災害防止協議会を設置しています(毎月1回程度)。協議会では、元請・下請責任者及び資材関係業者(安全担当者)が参加し、相互間の調整・安全衛生上必要な処置を講じ、労働災害の防止・活性化を図っています(写真-1)。

2. 安全教育・安全訓練の実施

毎月2回(各々2時間以上)安全教育・訓練を実施し、当月の工程・作業内容を十分周知徹底し、現場で予想される事故の防止対策を重点的に行っています(写真-2)。



写真-2

3. 交通事故対策

本工事場所は交通量の多い国道11号沿いですので、より一層の交通安全対策が必要です。工事用車両通行時に一般車両との接触事故を起こさないよう、工事用車両が国道11号へ出る場合には必ず一時停止及び左折を徹底しています。また、交通誘導員の配置、さらに独自にカーブミラーを設置し、交通安全確認を行っています。近隣の人家・小学校に対して工事作業週間予定表を設置し、土砂運搬・コンクリート打設等の作業予定を周知し、工事用車両に対する注意喚起を行っています(写真-3)。

隣接する農道(右岸側)では、地元車両および工事用車両の転落防止として、現場内で伐採した竹を使用した防護柵・注意表示看板・土のうを路肩部に設置し、交通事故防止の注意喚起に努めています(写真-4)。



写真-3

No. H20重信-2-2	平成20年度	四国山地砂防事務所	論文種類		
キーワード	掘削面対策 交通事故防止				
論文名	平成20年度	宮の谷堰堤工事における安全対策について	株式会社福田組	現場代理人:武田英昭	

4. 掘削面の落石・崩壊対策

本工事現場に隣接する農道の山側からは流水が見られるため、農道に流出したり、掘削法面に浸透しないようコンクリート側溝を施工しました。また、農道の路肩部に土のうを設置し、さらに掘削箇所をブルーシートで覆い、掘削面への雨水浸透を防止することで、崩壊防止対策としています(写真-4,5)。

5. 自記雨量計・警報器の設置

砂防堰堤工事現場は大雨の影響により土石流の起こりうる場所であることから、安全対策として、現場事務所横の適切な場所に自記雨量計(転倒柵雨量計センサー)・事務所内に警報出力ユニット及び回転灯を設置し、作業の中止・避難・解除を速やかに作業員に連絡できるようにしています(写真-6,7)。



写真-4



写真-5



写真-6



写真-7